

松平家史料展示室企画展

『旧市立図書館と近代福井のあゆみ』

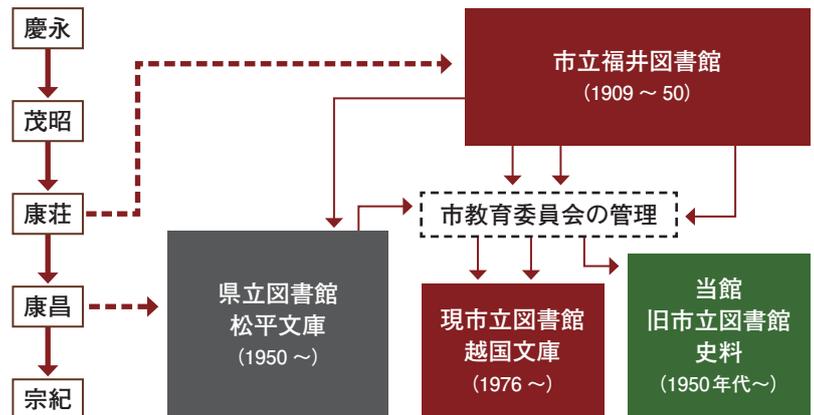
- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成30年11月7日(水)
～平成31年1月14日(月・祝)
- 休館日 12月3日(月)・4日(火)・17日(月)・
28日(金)～1月4日(金)

現在の市立図書館が建つ周辺には、県立藤島高校や県立美術館、福井大学などの教育・文化施設が林立し、県内随一の文教地区として親しまれています。しかし、かつて市の図書館は旧福井城の下馬門内（現在の大手3丁目）に建っており、「市立福井図書館」と呼ばれていました。1909年（明治42）に旧藩主家である越前松平家から建物と図書の寄贈を受けて開館するも、戦災と震災による市の財政難から1950年（昭和25）に廃館となった旧市立図書館は、近代福井の発展と苦難を象徴する施設であったといえます。本展では、当館が所蔵する旧市立図書館の旧蔵資料から、近代福井のあゆみをたどっていきます。

第1章 受け継がれた福井藩の旧蔵書

1871年（明治4）の廃藩置県により福井藩は解体され、その藩政史料と藩校明新館旧蔵書の一部は越前松平家（侯爵家）に、藩校旧蔵書の大部分は旧制福井中学校に引き継がれました。旧制福井中学校が受け継いだ旧蔵書は1948年（昭和23）の福井地震とそれに伴う水害によりほとんどが失われましたが、越前松平家が受け継いだ藩政史料・旧蔵書は一部に被害を受けつつも現代までその姿を伝えています。

その中で、旧市立図書館には、越前松平家第18代当主松平康荘（1867～1930）から旧藩主お手元の図書や藩校旧蔵書の一部が寄贈されました。当館が受け継いだ資料には、ペリー来航の様子を伝える摺物や、西洋の語学や科学技術に関する書物があり、福井藩において西洋に関する情報収集や科学技術研究が積極的に進められていたことを物語っています。



第2章 旧市立図書館の建設

明治前期の福井は主要な街道を中心に商家が立ち並んでおり、特に市街地の西側を南北に貫く北陸道沿いでは京町から呉服町にかけて一大繁華街が形成されていました。その中、越前松平家当主の松平康荘は1893（明治26）年



開館当時の旧市立図書館（『陸軍大演習行幸記念写真帖』より）

に旧福井城内へ松平試農場を建設し、1895年には福井へと移住するなど、福井に腰を据えて市街地東側にある旧城地の開発を進めていきます。しかし、1900年の橋南大火、そして1902年の橋北大火により市街地西側の大半が焼失したことで、市の商業機能は北陸道沿いの西側から福井駅周辺の東側へと次第に移っていきます。そうした中、1907年に福井藩の藩祖である結城秀康の没後300年祭記念事業として図書館の建設が計画され、1909年（明治42）年に完成をみたのです。このように、福井市における公共図書館の建設は、市街地の中心が西側から東側へと進む動きと軌を一にしていたといえます。

第3章 旧市立図書館の発展と文人市長永井環



永井環（『福井市史』より）

1926年（大正15）に第6代福井市長となった永井環（1865～1941）は、福井市出身の市長として文化行政に大きな力を注ぎました。永井は、宮崎県知事や東京市助役を歴任するなど練達した行政官僚である一方、歌人佐佐木信綱の門下として文筆に優れた文化人でもありました。永井の市長在任時には市立図書館の増築が決定されると同時に、福井の郷土史に関する書籍の充実が進められました。永井は、自らが収蔵に関わった書籍の一つ一つに識語を記しており、旧市立図書館の発展に捧げた情熱の大きさが窺われます。

展示目録

No.	資料名	頁数	年代	所蔵
第1章 受け継がれた福井藩の旧蔵書				
1	嘉永改正 泰平安民鑑	1幅	嘉永7（1854）年以降	当館蔵（旧市立図書館史料）
2	和蘭文典 前・後編	2冊	前編：天保13（1842）年9月 後編：嘉永元（1848）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
3	気海観瀾広義	12冊	安政3（1856）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
4	颶風新話	2冊	安政4（1857）年6月	当館蔵（旧市立図書館史料）
5	西洋砲図品	1冊	安政4（1857）年10月	当館蔵（旧市立図書館史料）
6	官板 海外新聞別集 上・下	2冊	文久2（1862）年閏8月	当館蔵（旧市立図書館史料）
7	宋元通鑑（松平春嶽手沢本）	16冊	万延元（1860）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
8	松平春嶽筆「孔子神位」の書幅	1幅	（安政2年）	福井市春嶽公記念文庫
9	松平春嶽筆「道天地将法」の書幅	1幅	慶応2（1866）年6月	当館蔵（旧市立図書館史料）
第2章 旧市立図書館の建設				
10	福井市街明細全図	1冊	明治27（1894）年	当館蔵
11	福井名勝記	1冊	明治26（1893）年3月25日	当館蔵（旧市立図書館史料）
12	福井巡覧	1冊	明治34（1901）年5月23日	当館蔵（旧市立図書館史料）
13	若越方言集	1冊	明治35（1902）年4月	当館蔵（旧市立図書館史料）
14-1	家譜 康荘（明治40年）	1冊		越葵文庫
14-2	家譜 康荘（明治41年）	1冊		越葵文庫
15	松平康荘筆「感於天地通於古今」の額	1額	明治42（1909）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
16	福井案内記	1冊	明治42（1909）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
17	市政三十年史	1冊	大正8（1919）年8月12日	当館蔵（旧市立図書館史料）
18	福井市案内 大正15年版	1冊	大正15（1926）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
第3章 旧市立図書館の発展と文人市長永井環				
19	福井市案内 昭和4年版	1冊	昭和4（1929）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
20	福井市ヲ中心トセル交通路ト遊覧地	1枚	昭和初期	当館蔵（旧市立図書館史料）
21	福井市郷土読本	1冊	昭和7（1932）年8月5日	当館蔵（旧市立図書館史料）
22	我等の福井市	1冊	昭和8（1933）年1月	当館蔵（旧市立図書館史料）
23	福井市鳥瞰図	1枚	昭和8（1933）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
24	福井市街全図	1枚	昭和8（1933）年	当館蔵（旧市立図書館史料）
25	福井図書館における郷土資料展覧会写真	3枚	昭和3（1928）年10月16日	当館蔵（旧市立図書館史料）
26	松むしの音 上・下	2冊	大正15（1926）年12月26日写	当館蔵（旧市立図書館史料）
27	明治新撰吐華文粹 上・下	2冊	昭和3（1928）年3月写	当館蔵（旧市立図書館史料）
28	先哲医師略伝 堺町守衛兵防戦雑記	1冊	昭和4（1929）年10月18日写	当館蔵（旧市立図書館史料）
29	A HISTORY OF RUTGERS COLLEGE	1冊	昭和5（1930）年8月26日贈	当館蔵（旧市立図書館史料）
30	橘曙覧刻石の碑歌拓本	1幅	昭和5（1930）年8月贈	当館蔵（旧市立図書館史料）

※福井市春嶽公記念文庫は当館蔵、越葵文庫は当館保管の資料です。

【関連イベント】

ギャラリートーク

（展示解説）

平成30年11月10日（土）、17日（土）、
12月8日（土）、1月5日（土）
いずれも14:00から40分程度

次回の企画展

松平家史料展示室 企画展

「美しいもの～明治・大正・昭和～」

平成31年1月17日（木）～3月18日（月）

松平家史料展示室 展示解説シート No.118
平成30年11月7日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 山田裕輝

印刷 宮本印刷